

## 【意見】

就学を来年度に控えた子どもがランドセルを購入したり、5歳児なりに期待を持っており、また地域や社会に対しても興味を持ち始めました。

そこで、連日のキャンプ場での事件、交通事故でのニュースや沼田市内での熊の出没情報等を見たり聞いたりし、自身の生活や経験に当てはめて考えるようになりました。我が子は、通学路の獣道や安全性に欠ける道路に、大変不安を感じて何度も涙を浮かべており、期待感より大きな不安を感じている現状です。保護者としても、「熊、注意」との看板にどう対応して良いのか疑問です。以前よりこの地域にお住まいの方は危機感が薄いようにも感じます。

人通りのない林道や、歩道のない通学路に前々より不安を感じております。現時点での対策もされているかと思いますが、事件や事故の回避をいま一度、親身にお考え頂けないでしょうか？

今の時代に適した見守り方法サポート、通学路の環境改善、スクールバス導入等、最善の対策を考えて頂けたらと思います。

アパートに住む方は不安を感じて別地域に転居なさった話も聞きますが、当方持ち家な為不可能で、個人的自動車送迎を我が子に提案しましたが、やはり友達と一緒にいきたいとの思いもあり、複雑な様子です。

林道内で獣との遭遇、体調不良、災害、不慮の事故が起きた場合、児童だけで対応出来るのでしょうか？大人でも獣に遭遇した場合安全に対応出来る方は少数ではないのでしょうか？徒歩で見守りながら送っても、帰路何が出るか分からない林道を私自身が一人で歩くことも恐怖を感じます。相手が人間ではないので想定外の行動もあると思います。

大切な命を守る為に久屋原地区より利南東小学校への安全な通学方法をお考え頂けないでしょうか？

高齢者増加と共に、子育て世帯が増加中の地域でもありますので、人口増加が定着するためにも、自然豊かな土地で時代に即したスクールバス導入を強く希望致しております。ご検討宜しく願いいたします。

女性40代：市内在住

## 【回答】

小学校入学への期待感や地域社会への関心の芽生えなど、お子様の成長を感じられる出来事の中で、お子様が登下校の安全に対して不安を抱いていることは、保護者にとっては大変つらいことと推察いたします。

沼田市では、通学路の安全確保に向けた取組を行うため、「沼田市通学路交通安全プログラム」に基づいて、関係機関（沼田市教育委員会・沼田警察署交通課・沼田市総務部地域安全課・小学校長・PTA会長・道路管理者）が連携し、毎年度合同点検を実施しながら、対応策について市ホームページで公表しております。

利南東小学校の3つの通学路（学校坂、金比羅坂、新通学路）については、昨年

度に合同点検を行い、防犯灯や防犯カメラの設置状況を確認するとともに、雨天時などの道路状況が悪いときの対応についても学校側と確認いたしました。利南東小学校では交通安全教室など体験的な学習を学年発達に応じて行い、危険を予測し回避する力を身に付けられるように工夫するとともに、集団登下校の実施やPTAと連携した通学路の安全確保に努めております。

これまでも雨天時など道路状況が悪いときには、保護者による送迎等でご協力をいただいているところですが、お問い合わせにある「スクールバス導入」につきましては、通学距離等の点から難しいのが現状です。

なお、防犯灯や防犯カメラは設置してありますが、追加が必要な場合は地域安全課が対応いたしますし、道路に係るものについては建設課が対応いたしますので、お住まいの区長にお伝えいただくか、直接担当課へご相談いただければと思います。

沼田市教育委員会では独自施策「セイフティ沼田」を策定し、登下校を含めた安全指導について市内各小中学校へ指導しております。変質者・有害鳥獣等の通学における危険については、例えば集団登下校の実施、自主防犯パトロール隊との連携など、一人にさせない登下校の体制作りや、危険な場所に近づかないことなどの危険予測・危機回避能力を育てることを示しています。

今後も、保護者・地域・関係機関との連携を深め、安全教育の充実と適切な安全管理の推進が図れるよう、引き続き対応してまいりたいと考えております。

担当：教育部学校教育課